

議員名のあとの（ ）は、  
会派の名称です。  
質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文を掲載し、  
答弁は内容を要約して掲載しています。

既成市街地の狭あい道路の安全確保強化を

小池 信一郎 議員（自民新政会）



町長 早期改良に取り組みたい

質問 既成市街地の狭あいな道路は、道路幅員の確保が困難な場合が多く、現在、カラー舗装などによる歩車道分離の安全対策は進められていますが、まだ交差点や路地には高い塀や樹木が障害となる危険な場所が多く、歩行者や自転車の安全性が確保されているとは云い難い。町は安全な道づくりを推進しているが、生活道路の安全確保を優先し、住民と地権者の理解と協力を得て、危険な場所を早期に改善すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 既存市街地での生活道路には、狭あい、歩車道の区別が無い区間など、危険箇所があることは承知している。町では、これまでも生活道路や交差点改良のため、土地取得の交渉を進め、徐々に改良工事を行ってきたが、すべての危険箇所の解消には、沿道地権者の理

解が不可欠であり、多くの時間がかかると思う。今後も、地権者の理解と協力を得ながら、危険箇所の早期改良に取り組みでいきたい。

こんな質問もありました  
家族介護の支援拡充を  
町長 最善の制度構築を目指す。



拡幅された町道（殿ヶ谷地区）

町政運営に住民感覚での工夫を

原 成兆 議員（自民新政会）



町長 地域と行政の連携で課題に取り組む



住民の声を反映してつくられた長岡コミュニティセンター

質問 今秋以後、大企業では大幅な増益決算及び業績の上方修正が報道されているが、中小企業等では依然厳しい状況である。各市町村の財政状況においても厳しい状況に変化は見られない。そこで、次の4件の活用について更なる工夫が必要と考えるが、町長の所見を伺う。

問① コミュニティセンター等の施設。町長 地域と密着した運営の実現と、行政施策の連携を共に考えていく。

問② 人材リストの登録者を含む人材。町長 43名の方が登録。現在は社会教育事業の中で、講師として活用させていた

問③ 福祉バス。町長 新たな停留所を設置した。利用者がさらに増えるよう、町のイベントとの協同など、検討を加える。

問④ モーガンヒル市との交流。町長 中学生以外の相互交流など、今後の交流事業のあり方について関係機関と意見交換をしている。

空き家対策について問う

青山 晋 議員（公明党）

町長 パトロールを強化する

質問 居住者がおらず、長年放置されたままの「空き家」は、庭に草木が生い茂り、隣家の敷地まで伸びており、家全体がツタに覆われ、外壁すら目視できない状態の家もある。環境面だけでなく犯罪の温床・不審火の危険性などが高く「地域全体の悩みの種」となっている。

総務省の「住宅・土地統計調査」では、売却・賃貸の対象外の空き家が最近、大幅に増加し、過去最高の統計が出ています。そこで、防犯・防災の観点から町の対策を問う。

町長 町では、所有者の管理義務があることを踏まえ、た上で、口頭でのお願いや書面で適正な管理を呼びかけている。法律上、行政権限の及ばない個人住宅への立ち入り・改善命令ができないことや所有者への罰則がないため、防犯や防災面での直接的な対策は難しい。引き続き、防犯パトロールや環境パトロールの巡回を強化し、地域の方々の協力も呼び掛けている。今後、国の空き家対策特別措置法案の審議動向を注視しながら、所有者の家屋管理に関する相談に適切に対応する。



リサイクルプラザを出発する環境パトロール車

総務省の「住宅・土地統計調査」では、売却・賃貸の対象外の空き家が最近、大幅に増加し、過去最高の統計が出ています。そこで、防犯・防災の観点から町の対策を問う。

町長 町では、所有者の管理義務があることを踏まえ、